

東京土建一般労働組合
江東ブロック会議
江東区北砂1-11-4
TEL [3640]2411
発行者 大勝友二
新聞代は組合費に含まれています 定価30円



墨田、江東、江戸川合同編集

〈墨田支部〉

秋の支部役員学習会

日時 9月3日(月)午後7時～
場所 曳舟文化センター
群三役・分会四役・支部役員のみな
さんを対象におこないます。
すみだ支部ホームページ
http://www.doken-sumida.org

平和
特集号

『遺族を救う道を切り開きたい』

戦後一貫して戦争を恨み平和を守る運動を続けてきた星野弘さんの生涯

空襲被害者救済に向けた 援護立法を求めたたたかい

6月17日、東京大空襲訴訟原告団長で全国空襲被害者連絡協議会名誉顧問の星野弘さんが誤嚥性肺炎のため87歳で亡くなりました。星野さんは東京大空襲の被害に遭い、その経験から空襲遺族の救済に尽力し、被害者の戦後補償を求めて裁判闘争、さらに補償を法的に認めさせる立法化運動をすすめてきました。今から73年前の3月10日、米軍の無差別爆撃によって、一夜にして10万人もの民間人が死傷し、私たちが暮らす墨田区に大きな被害を与えた東京大空襲。今月の土建しんぶんは、平和特集号として、空襲被害者の救済運動に生涯を捧げた星野さんについて、奥様の雅子さんより話を伺いました。(文責編集部)

被害者救済運動の原点

星野さんは、向島吾娣 生まれ育ち、14歳の時に町(現・墨田区文花)で東京大空襲に遭いました。星野さんたちは、な

た。母親と姉2人で猛火を避けて隅田川をめざし、「もう無理だ」と路上に座り込む母親を必死で励ましながら逃げまし

生きていた証に せめて名前だけでも

星野さんは、墨田平和委員会の会長として、戦後50年の1995年に戦争体験を風化させないため「墨田区戦跡マップ」を作製。平和を語り継ぐ運動をしてきました。戦跡マップの作製に向けて調査をおこなった際、東京空襲犠牲者氏名の記録が都との交渉のなかで約4千人にとどまっていたことが解りました。

2001年には、遺族約8百人を集めて東京空襲犠牲者遺族会を設立。戦傷病者戦没者遺族等救護法により、戦地で死傷した軍人や遺族には年金が支給されるが、民間人に補償はありません。「国に責任を問うべきだ」という遺族の声を聞き、訴

戦争の悲惨さを 語り継いでいく



星野雅子さん

に活動している、NPO法人すみださわやかネット設立時の理事として、2010年まで活動してきました。

弘さんの奥様、雅子さんは元社会保険労務士で、東京土建墨田支部と共に

最後に「夫の弘は、戦後一貫して戦争を恨み平和を守る運動を続けてきました。そのなかで、空襲被害者への国の謝罪と補償を求める運動をおこなってきた。戦争の悲惨さ、平和の尊さは私たちが語り継いでいくから、ゆっくりに休んでほしい」と雅子さんは語りました。

吾妻製鋼所へ向かう人たち。(1945年3月19日)
〔東京大空襲・戦災資料センター〕



員されて、主に北十間川から遺体を引き上げてトタン板に乗せて錦糸公園へ運びました。「運んでいる途中に遺体の手足が取れても拾う余裕はなかった」。川底から母親の髪を握りしめたまま亡くなった一・二歳の女児の遺体が浮かんできた。今でも夢に出てくる。私



焼けた両国の国技館の前を行くリヤカ。(1945年3月19日)〔東京大空襲資料センター〕



2001年、遺族会結成集会で話す星野弘さん

「錦糸公園周辺は別世界で何にもない焼け野原となっていて遠くに上野

知識と経験を活かし、さらなる発展を 60周年記念式典



山本墨田区長(中央)と一緒に鏡開き

231人の出席で60年を祝う

7月22日(日)東武ホテルレバント東京において、支部結成60周年記念式典を来賓71人、組合員160人の合計231人の出席で開催しました。支部結成60年を盛大に祝うため、春の拡大(仲間づくり)月間では1月現勢からの増勢をめざして取り組み、その結果1月組織人数から22人増の2,870人でこの日を迎えることができました。

墨田支部らしい賑やかで楽しい式典

式典は、2部構成でおこなわれ、1部では浅見 景品に会場が大いに盛り上がりました。特賞の2部では鏡開きと乾杯の後、新日本フィルハーモニー交響による演奏、青年部と後継者対策部による大抽選会が行なわれました。日本各地の名産やご当地グルメから本まぐろの中トロ1kgなど豪華

品と表彰状を贈呈。85歳の高橋さんは、お元気で現任も住宅デーや地域木工教室に指導員として協力してくれています。表彰式では「みんな仲良く一緒にがんばってきた」と、60年間の組合活動について話しました。その後、出席した来賓の皆さまから、墨田支部への活動に期待を込めた挨拶を頂戴しました。(大工)が代表して記念

熱中症を防ごう

毎年、夏に集中して熱中症が発生しています。予防対策を徹底しましょう!

熱中症を防ぐには

- ・日よけや風通しを良くするための設備を設置し、作業中は適宜散水する
- ・水分、塩分の補給のためのスポーツドリンクや、冷たいおしぼりなどを備え付ける
- ・日陰等涼しい所に休憩場所を確保する
- ・十分な休憩時間を確保する
- ・吸湿性・通気性の良い作業服を着る
- ・通気性の良い帽子を着用する

救急措置

- ・涼しい所で安静にする
- ・水やスポーツドリンクをとらせる
- ・衣類をゆるめて首や脇の下を冷やす



新日本フィルハーモニーによる演奏



明日への希望

資格講習会のご案内

- 《木造建築物の組立て等業主任者》
講習日 10月10日～11日の2日間
受講料 1万1千円
対象者 経験3年以上の方
- 《コンクリート造の工作物の解体等業主任者》
講習日 10月30日～31日の2日間
受講料 1万1千円
対象者 経験3年以上の方
- 《建築物等の鉄骨の組立て等業主任者》
講習日 11月6日～7日の2日間
受講料 1万1千円
対象者 経験3年以上の方
- 《有機溶剤作業主任者》
講習日 11月8日～9日の2日間
受講料 1万1千円
対象者 18歳以上の方
- 《石綿作業主任者》
講習日 10月16日～17日の2日間
受講料 1万1千円
対象者 18歳以上の方
- 《酸欠・硫化水素作業主任者》
講習日 10月24日～26日の3日間
受講料 1万9千円
対象者 18歳以上の方
- 《職長・安全衛生責任者教育》
講習日 ①9月11日～12日の2日間
②10月10日～11日の2日間
受講料 1万4千円
対象者 20歳以上の方
- 《新入職者教育》
講習日 10月3日～4日
受講料 9千3百円
対象者 18歳以上の方
- 《酸欠・硫化水素特別教育》
講習日 11月21日
受講料 7千5百円
対象者 18歳以上の方
- 《低圧電気特別教育》
講習日 10月2日
受講料 7千5百円
対象者 18歳以上の方

